

道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成24年度採択課題）

中間評価結果

番号	研究名	研究代表者	評価
24-9	疲労き裂の補修技術に関する研究開発	名古屋大学 教授 館石 和雄	B

<研究の概要>

本研究では、疲労き裂が生じた鋼橋部材に対して、簡易にかつ即時性をもって補修するための技術開発を行う。具体的には、ICR、樹脂注入法、溶接補修の3つの技術を取り上げ、それぞれの効果と適用限界を定量的に明らかにするとともに、実施工技術を開発する。

※ICR 処理：鋼部材に生じた疲労き裂に対して、その近傍の表面をたたいて塑性変形を与え、き裂を閉口させることにより、外力が作用しても開口しないようにする補修法

<中間評価結果>

研究体制の一部が減となった点が、研究計画に支障とならないよう留意されたい。指摘事項を踏まえて研究を推進することが妥当と評価する。

<今後の研究計画・方法への指摘事項>

- 3つの補修工法の各々について、研究の最終成果の目標を明確にし、研究内容を絞った上で、必要とする実験結果が得られるよう実験計画の詳細を検討されたい。
- 3つの補修工法の適用条件等が現場で判断できるよう成果を取りまとめられたい。